

きたおやふる 北生振の 泥炭地と 泥炭ストーブ

資料館のお宝 2021 特別編

期間：令和3年1月4日～3月31日

時間：9:30～17:00

休館：毎週火曜（火曜祝日の場合はその翌日）

場所：いしかり砂丘の風資料館

（住所：石狩市弁天町30-4 Tel：0133-62-3711）

入館料：300円（中学生以下無料）、団体料金（15名以上）：240円

主催：いしかり砂丘の風資料館

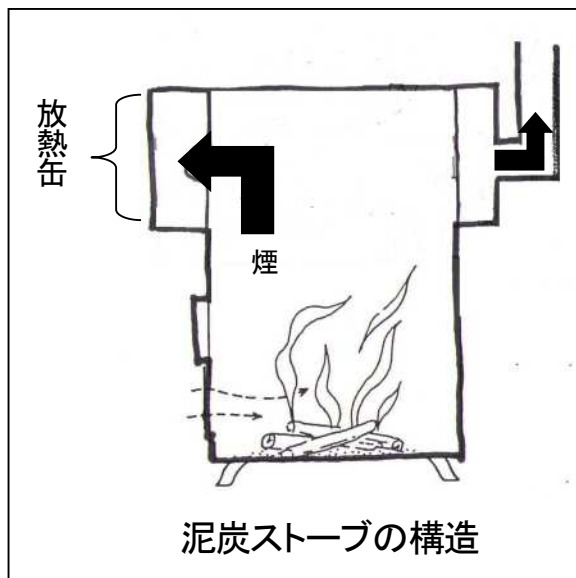


泥炭ストーブ【でいたんすとーぶ】

泥炭を主燃料とするブリキ製ストーブ。煙をストーブ上部の放熱缶を通すことにより、排熱を利用するとともに放熱面を拡大して熱効率を高める構造が特徴です。木材や石炭に比べカロリーが低い泥炭を使うため、このような構造がとられたと考えられます。

参考文献

新穂栄蔵 1986 ストーブ博物館 北海道大学図書刊行会
氏家 等 1996 第1章第6節 ストーブとブリキ職人
北の生活文庫3 北海道の民具と職人 北海道新聞社



■泥炭ブロック

燃料用に乾燥させた泥炭。木材や石炭に比べて燃え方が遅く、温まり方がやわらかで比較的長時間燃えたので経済的だったといわれている。